

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達LABO.Proリハ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 13日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の中で事業所を好き、楽しみにしている児童が多いひとりひとりに合わせた個別療育ができる。 運動療育と机上での学習や集中して取り組む療育が実施できる。	好きな事楽しいことの中で新しいことや苦手な要素を取り入れ、「楽しい」と思える環境作りや成功体験を積みながら少しずつ取り組めるプログラムを実施している。	遊びのレパートリーを増やす(外部講習、書籍、物品管理など) 職員の研修や経験の機会を増やす
2	専門的知識のある職員が支援計画に沿った療育を行っている。	個別療育では療育毎にプログラムの打ち合わせや集団療育では振り返りの時間を設けて共通理解を図り、さらに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士からのアドバイスがある。	研修等でより深い知識を得たり、職員間のミーティング等で共通理解を築き、療育内容を深めていく。
3	家族が送迎してスタッフと顔合わせすることや、家族が療育の場を見学したり、実際参加してもらう事で、家族からの相談やお子さんの特性理解の時間を大切にしている。	保護者や家族が今何に困っているのかをその都度傾聴し保護者や家族に寄り添う時間を設けている。	保護者や家族とお子さんの橋渡し役になれるように相談援助の研修等に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	担当制のため支援者が同じ人になりやすく、同じプログラムになりやすい。	スケジュールの関係で担当者だけでなく補助の支援者も同じ場合が多い。	スケジュール調整をして普段と異なる支援者を意図的に作る。
2	他の事業所との交流や保護者間の交流が少ないため閉鎖的である	個別療育を実施していくうえで、他の事業所との交流や保護者間の交流についてのニーズを聞き取ることが少ない	保護者評価や事業所用自己評価シートを活用して、保護者間の交流や他の事業所との情報共有などのニーズを広い、次年度に生かしていく。
3	スタッフによって専門知識にばらつきがあり、情報共有の難しさを感じることもある。	日々の療育への時間に追われるため、法人内外での研修に時間を当てるのが難しい。	スケジュールの見直しや業務改善を行い、スタッフ全員が無理なく研修等が受けられるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こども発達LABO.Proリハ				公表日		2025年3月1日			
		利用児童数				14		回収数		5	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	0	0	0					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1	0	0	個別のときは一人でも良いのではと思う 時がある。	安全管理が必要な場合は二人体制で対応 しますが、療育内容によっては1人で対 応させていただく事も検討していきま す。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	2	0	0	分かりやすい構造ですが、身体障害のあ るお子さんの利用を考えるとバリアフ リーではないと感じる。	建物の構造上完全なバリアフリーに出来 ないため、段差や階段などは職員がつい て対応します。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	0	0	0					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	4	1	0	0					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	4	0	0	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	4	0	0	1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	4	0	0	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	4	0	0	1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	0	1	3	1	個別での療育を求めて通っているので、 必要とっていない。	ご意見ありがとうございます。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	3	1	0	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	0	0	4	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	4	1	個別での療育を求めて通っているので、 必要とっていない。	ご意見ありがとうございます。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	4	0	0	1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	3	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	4	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	2	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達LABO.Proリハ				公表日		2025年3月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	療育中の危険管理について療育プログラムを変更して安全管理に留意しています。	適切に予定配置していますが、体調不良などの急な休みについての対応など相互理解をする必要があります。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	壁面にあまり掲示物を貼らず刺激を抑え、部屋にカードを貼ったり、並ぶための視覚支援など行っています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	5	療育の振り返りやスタッフミーティング等で業務改善について検討しあっています。	担当制のため利用児童全体の把握を各職員が把握できる工夫が必要。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0						
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	法人HPに支援プログラムが公表されています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0						